

訓練支援計画書（シラバス）

科名：電子情報技術科

授業科目の区分		授業科目名	必修・選択	開講時期	単位	時間／週
訓練課程	専門課程	ファームウェア技術	必修	5期 6期	2	5期：2 6期：2
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	ファームウェア技術					
担当教員		曜日・時限	教室・実習場		備考	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
電子機器に組込まれるCPLD等を用いたディジタル回路設計にかかる分野において必要な基本技術						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
CPLD等を用いた集積されたデジタル回路設計技法についての知識を習得する。	①	「CPLDの基本的な構成」と「CPLDの種類と特徴・内部構造」について知っている。				
	②	「使用する機器の役割と機能」と「回路図による設計」について知っている。				
	③	「VHDL構文の基本と記述方法」と「信号代入文と演算子」について知っている。				
	④	「プロセス文」と「コンポーネント文と構造化記述」について知っている。				
	⑤	データ・オブジェクト、サブプログラム及びpackage文について知っている。				
	⑥	パラメタライズ設計と階層設計について知っている。				
	⑦	カウンタ回路の設計について知っている。				
	⑧	シフトレジスタの設計について知っている。				
	⑨	デコーダ・7セグメント表示回路の設計について知っている。				
	⑩	加算器・減算器とコンパレータの設計について知っている。				

授業科目受講に向けた助言	
予備知識、技能・技術	「電子回路」を理解している事が望ましいです。特にデジタル回路については復習して理解してください。
受講に向けた助言	CPLDを用いると、デジタル回路の組み合わせ論理回路、順序回路、カウンタ回路、シフトレジスタ回路がプログラミングをすることにより設計できます。機能ごとに回路が構成できますので、小さな機能ごとに設計し動作を確認してそれを組み合わせることにより、複雑な回路を構成することができます。予習・復習を欠かさず行い、疑問等があれば積極的に質問するように心がけてください。
教科書および参考書	教科書：自作テキスト 参考書：「絵とき デジタル回路の計算」（オーム社）
授業科目の発展性	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">デジタル回路技術</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ファームウェア技術</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">デジタル回路実習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ファームウェア実習</div> </div>

評価の割合								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合		40	0	0	50	0	10	100
	授業内容の理解度							
	技能・技術の習得度	20			50			
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力・推論能力	20						
	取り組む姿勢・意欲						10	
	主体性・協調性							

週	授業の内容	授業方法	訓練課題 予習・復習
1週	ガイダンス 1. カスタムIC (1) CPLDの基本的な構成 (2) CPLDの種類と特徴・内部構造 2. 開発環境 (1) 開発環境の機能 (2) 使用する機器の役割と機能	講義	CPLDの種類と特徴・内部構造開発環境の機能、使用する機器の役割と機能、回路図の設計方法について復習し理解してください。
2週	(3) 回路図による設計	講義	回路図の設計方法について復習し理解してください。
3週	(3) 回路図による設計 3. HDL回路設計 (1) HDL構文の基本と記述方法 (2) 信号代入文と演算子	講義	回路図の設計方法、HDL構文の基本と記述方法、信号代入文と演算子について復習し理解してください。
4週	(3) プロセス文 (4) コンポーネント文と構造化記述 (5) データ・オブジェクト	講義	プロセス文、コンポーネント文と構造化記述、データ・オブジェクトについて復習し理解してください。
5週	(6) サブプログラム (7) package文 (8) パラメタライズ設計と階層設計 4. 回路設計製作 (1) カウンタ回路の設計	講義	サブプログラム、package文、パラメタライズ設計と階層設計について復習し理解してください。 順序論理回路、カウンタ回路についてデジタル回路の教科書等を見て予習しておいてください。順序論理回路の設計、カウンタ回路の設計について復習し理解してください。
6週	(2) シフトレジスタの設計	講義	シフトレジスタ回路についてデジタル回路の教科書等を見て予習しておいてください。シフトレジスタの設計について復習し理解してください。
7週	(3) デコーダ・7セグメント表示回路の設計	講義	デコーダ・7セグメント表示回路をデジタル回路の教科書等を見て予習しておいてください。 デコーダ・7セグメント表示回路の設計について復習し理解してください。
8週	(4) 加算器・減算器、コンパレータの設計	講義	加算器・減算器、コンパレータについてデジタル回路の教科書等を見て予習しておいてください。
9週	(4) 加算器・減算器、コンパレータの設計 評価	講義 評価	加算器・減算器、コンパレータの設計について復習し理解してください。